



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成23年11月21日 第538号「週刊五十嵐レポート」

新事業100社、大半が赤字

ベトナム経済視察ツアー中、読めなかった日経新聞をまとめて読んでみました。オリンパス関連の記事が多く書かれていました。その中で、「オリンパス、内視鏡好調の陰で、新事業100社、大半が赤字」という記事。

「世界シェアが7割超で収益力も高い内視鏡事業が着実に伸びる一方、新事業の子会社数も急増。経営の全体像が見えにくくなった。01年に就任した前川前社長は、売上高1兆円は社長の夢と掲げ、01年3月期の売上高(4667億円)を倍増させるシナリオを描いた。本業と関係の薄い会社も積極的に傘下に収めた。100社前後の事業会社は数社を除くと、いずれも赤字。

赤字企業を抱え続けられるのは、内視鏡の収益力が高いから。11年3月期の医療事業(主に内視鏡事業)の営業利益は693億円。その他事業の赤字を補い、全体の利益をけん引してきた。」

ここから学ぶことは、一番商品(事業)を持っていると収益力は強い。ここでは内視鏡事業。シェア7割超になるとほぼ独占に近い。

目標設定(売上高倍増)を間違えると戦略も狂ってくる。主力の内視鏡事業から関連の薄い事業に手を出していった。事業の関連性よりも売上が上がる事業へ。売上高の規模を追うのではなく、1人当りの売上高、粗利益、経常利益の向上を目指すべき。

分散は企業の力をそぐ。新事業100社、大半が赤字。資金力があっても事業は黒字にならない。強い商品力、強い営業地域、強い業界・客層を持っている事業かどうかが大事。

今後のオリンパスは赤字である新事業を売却して本業回帰していくことでしょう。選択と集中です。

会社はトップで決まるということを改めて認識した事件でした。

ちょっと
気になる出来事

11月10日(木)、日経新聞夕刊の記事。

法政大大学院は47都道府県ごとの平均寿命や出生率、完全失業率、犯罪発生件数など40の社会経済統計指標から「幸せ度」を調べ、順位を発表した。

1位は福井県。未婚率が低く、出生率が高いこと、障害者の雇用率や正社員比率も高く、犯罪が少ないことなどが評価された。

2位は富山県。自然環境に恵まれ趣味や娯楽に費やす時間が長いと評価された。

3位は石川県。失業者が少なく、弱者向けの政策が行き届いている。

一方、最下位は大阪府。生活保護受給者の多さや治安の悪さから厳しい結果となった。

なぜか、北陸3県が上位を占めました。



一口メモ
成功の秘訣

従業員の視線に注意しろ

会社は社長の判断一つで成長もするし傾きもします。会社が傾いて、社長の一人の生活がおかしくなるなら自己責任と言えますが、雇われている身になったらそれはとんでもないこと。会社に勤めているということは、その社長に自分の人生を預けているようなものですから、社長にいい加減な経営をやられては、たまったものじゃありません。

だからこそ、経営者は社員の視線を気にすべきです。自分の一挙手一投足が全員の死活問題である、と自覚すべき。そして、社員の鏡となるよう日々努めるよう心がけましょう。そう考えれば、いい加減な判断、いい加減な行動などできなくなるはずですよ。

岩松正記著「経営のやってはいけない」(クロスメディアパブリッシング)より

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行

町コン経営塾「会社成功塾」 毎週日曜日、月曜日 午前10時~12時。

町コン・ランチェスタービジネスセミナー 毎月東京・大阪開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

